

渋川医療センター 広報誌



永年勤続表彰者と幹部職員

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、その役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児（者）の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

【目次】

看護の日イベント開催	1
新人看護師を迎えて	2
永年勤続表彰30年を受賞して	3
永年勤続表彰20年を受賞して	3

職場紹介

入退院センター	5
事務部	6

シリーズ

●患者さんにとって耳よりの情報	
「骨粗しょう症とは？」	7
「味覚異常のある時の食事の工夫について」	8
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当医表	11
●患者さんの権利	11
●看護の理念、看護の基本方針	11
●編集後記	11

看護の日 イベント開催

4階西病棟看護師長 関根 晃子

「看護の日」をご存じですか？「看護の日」は、近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日5月12日にちなみ、制定されました。その歴史は古く、1965年から国際看護師の日とされ、各国で「看護の日」のイベントを開催しています。

当院でも開院以来毎年「看護の日」のイベントを開催しており、今年で8年目になりました。

今年は、看護師が活躍する場面を紹介するパネル展示とACP（アドバンス・ケア・プランニング）の考えをもとに作成した当院オリジナルの「マイストーリーノート」の普及のための展示とノートの配布を行いました。

各部門紹介のパネル展示では、看護師が活躍する一場面を写真で紹介しました。当院は、救急医療や政策医療（重症心身障害児（者）・がん・結核）、地域医療拠点病院としての役割を担っており、その部署ごとに特徴的な看護実践を行っています。看護師の活躍場面を通じて、当院の特徴を理解していただける機会となればと思います。

また、近年耳にすることが増えた終活という言葉がありますが、言葉は知っていても実際に何をすればよいのか迷っている方が多いのではないのでしょうか。当院では、「マイストーリーノート」を用いて自分の人生をふりかえり、終活に向けた取り組みを推進しています。「まだまだ、終活には早い」「縁起でもない」と思われる方もいらっしゃいます。しかし、自分が生きてきたキャリアを考え、万が一に備える事は、これからの人生を前向きに考える事につながると私たちは考えています。「マイストーリーノート」活用を通して自分の人生の棚卸のお手伝いをさせていただきたいと思い、「看護の日」イベントで紹介させていただいたところ、多くの方が手に取り「よい考え方だ」という感想もいただきました。

普段、看護師の活躍をじっくりと紹介する機会はありません。看護の日イベントを通じて看護の魅力の発信が続けられるよう、次年度も継続して開催したいと思います。



ナイチンゲール像



病棟紹介



病棟紹介



人生会議のヒントになるマイストーリーノート

新人看護師を迎えて

教育担当看護師長 大石 一輝

令和5年度、看護部は新たに18名の新人看護師を迎えました。当院では、入職後の3日間の全体集合研修を受けた後、すぐ病棟に配属されるのではなく、1日ずつすべての看護部署に行って色々な部署体験したのち、希望部署の確認を行い5月1日より病棟へ配属されました。

今年の新人さんも、看護学生になった時には、すでにコロナ禍であった人たちが多く、コロナによる大きな影響を受けながら学生生活を送ってきました。特に看護学生は、コロナ禍前に比べると、感染防止のため患者さんに接する時間が短い実習となってしまいました。そのような背景も含めて、当院では4月は実習できなかった経験をしてもらいたいと思い、部署体験の研修期間を設けています。

4月の採用時オリエンテーションは、スーツ姿でとても緊張した様子でした。3日間の集合研修の最後には、ナースウエアとなり、場所を会議室から院内にある桜の木の下に移動し、自己紹介を行い、写真を撮っています(写真はその時のものです)。就職できた嬉しさ、これからの希望や不安などを共有し、少しでしたが和やかな時間を過ごし同期で一致団結しました。4月は各病棟へのローテーション研修を行い、各病棟の特徴を理解し、基礎的な看護技術の見学や経験をし、病棟の現状を肌で体験しました。

5月からの病棟配属された新人看護師は、先輩看護師と一緒にひとつひとつ教えてもらいながら、業務を覚えていきます。新しい職場で緊張もあり、覚えることも多く、はじめて経験することもあるので、大変な日々が続きますが、一生懸命に過ごしています。7月前後になると夜勤もはじまりますが、個別に合わせて、成長できるように、先輩看護師が支援をしています。

新人看護師が、患者さんの立場にたち、心あたたかく、信頼に応える看護が行えるよう教育看護師長として一緒にがんばっていきます。皆様のご支援をお願い致します。



永年勤続表彰 30年を受賞して

3階東病棟看護師長 信澤 治子

この度は、永年勤続を表彰して頂き、誠に有難うございます。国立病院に就職し30年、幸いにも上司や同僚、職場環境に恵まれ、看護師を続けていくことができました。患者さんの言葉に励まされ、関わりから多くを学ばせて頂き、人としても成長することができました。これからも出会えた人との絆を大切に、関わる全ての方に感謝し、「ひと」に寄り添う看護を実践できるよう頑張っていきたいと思っております。今後とも皆様、宜しくお願い申し上げます。

調理師長 須藤 美月

平成5年に国立沼田病院に採用され、その後、渋川医療センター開院とともに、異動のお話をいただき、今年永年勤続表彰30年を迎えることができました。栄養管理室長をはじめ、栄養士や調理師の上司、病院関係者の皆さんのお陰だと感謝しております。受賞式の時に蒔田院長から銀杯の積み重ねは経験の積み重ねで今があるとお話がありました。これからも色々経験し、努力を忘れず、安心安全で美味しい食事を提供できるよう日々精進していきたいと思っております。

永年勤続表彰 20年を受賞して

臨床検査技師長 新谷 和之

この度は永年勤続表彰20年をいただき、誠にありがとうございました。思い返すと入職当時の臨床検査技師は、直ぐに常勤職員として採用される訳ではなく、賃金職員（現在の非常勤職員のような契約）として働き、数年経験を積んだ後、常勤職員として本採用される形態でした。賃金職員として採用されたのが平成16年のことでしたので、国立病院に入職してから実質25年が経ったこととなります。その間、多くの人と出会い、支えられながら勤務できたことは大きな糧になっております。これからもご指導いただきながら精進してまいります。



地域医療連携係長 **小 嶋 美津穂**

この度、永年勤続表彰を頂きましてありがとうございました。20年を振り返るとあっという間でしたが、結婚、出産、育児等のライフイベントを国立病院機構と共に過ごしてまいりました。自分ひとりの力ではなく、上司、同僚のお力添え、家族の支えや協力があったからこそ看護師という仕事を続けることが出来ました。ご協力いただいたすべての方へ感謝申し上げます。

今後もより一層、地域の方々へ貢献できるよう努めてまいりたいと思います。

5階東病棟副看護師長 **星野 由佳**

この度、永年勤続表彰をいただきありがとうございました。

これまで多くの患者様やご家族と出会い、さまざまなことを学びました。つらい気持ちに寄り添い、患者様の望む看護が提供できるようになりたいと考え、認定看護師になったことは、新人だった20年前には考えもしなかったことです。先輩や同僚に支えられ今日まで勤めることができたことに感謝し、今後もよりよい看護を提供できるよう努力したいと思います。

臨床検査科 血液主任 **長澤 大輔**

この度、永年勤続表彰20年をいただき、誠にありがとうございました。私が長年勤務できたのもこれまでの職場の方々、家族のお陰だと感謝しています。

これまでの20年の月日を振り返りますと、通常の業務だけでなく慣れない臨床研究を行った日々についても自分なりに精一杯やり遂げる事ができたのではないかと考えています。

今後もより一層気を引き締めて業務に取り組んで参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

5階西病棟看護師 **中島 寛奈**

この度は勤続20年として表彰して頂き誠にありがとうございます。この20年間で、仕事上の失敗で落ち込み、家庭と仕事の両立に悩み、仕事を続けることは困難の連続でした。そんな私が今日まで続けてこられたのは諸先輩方や同僚スタッフの励ましと協力があったからです。患者さんからの言葉もとても励みになりました。みなさまに感謝するとともに今後も頑張りますのでご指導よろしくお願いいたします。

入退院センター看護師長 小嶋 美津穂

「入退院センター」では、患者さんやご家族が安心して入院生活を送ることができるよう、看護師が病歴の聴取や入院におけるオリエンテーションを行っています。また、住み慣れた地域や自宅での療養生活が円滑に行えるよう、生活と医療を結びつけた相談支援も行えるように体制を整えています。入院前より多職種と連携し、患者さんの不安を少しでも軽減できるよう努めており、在宅サービス利用中の方は関係者と事前に情報の共有を行い、入院中も継続したケアが提供できるよう取り組んでおります。MSWと協働し、患者さん・ご家族が退院後の生活や治療に関する不安等の相談にも対応させて頂いておりますので、お困りごとがございましたらお気軽に1階医療福祉相談室へお越しください。

皆さんは、エンディングノートをご存じでしょうか。エンディングノートとは、自分にもしものことがあった時のために、家族や大切な人に伝えておきたいことや、必要な情報をまとめるノートのことを言います。昨年度、入退院センターでは、患者さんの意思決定を支えるツールとして当院オリジナルのエンディングノート「マイストーリーノート」を作成いたしました。ノートには、自分の歴史や思い出、これからやりたいことリスト、意思表示等伝えておきたいことを記入します。書き方に細かい決まりはなく、自分の好きなページから、ご家族や大切な方と一緒に相談しながらご記入いただいてもかまいません。「マイストーリーノート」は院内の各病棟、化学療法室、がんサロン、看護外来、入退院センターに設置しております。また、当院ホームページにも掲載しております。是非お手に取っていただき、大切な人へあなたの言葉で想いを伝えてみてください。

入退院センターは入院が決定された患者さんが一番最初に訪れる部署です。スタッフ一同、笑顔で患者さん・ご家族をお迎えし、皆さんの抱える困りごとや不安に寄り添い、入院生活を不安なく快適に過ごせるよう支援させていただきます。



スタッフ集合写真

職場紹介 事務部

事務部管理課 庶務係長 佐藤 慶太郎

渋川医療センターの事務部には44名の職員が所属しています。事務部は大きくわけて企画課、管理課、経営企画室の3つの部署で構成されています。

企画課の業務

企画課では物品の購入や外部委託に関する契約手続き、経営に関する各種財務諸表の作成、病院の債権・債務の管理、外来及び入退院の医事業務の管理等といった病院の収入や支出に関する業務を行っています。患者さんの視点を考えてより質の高い医療サービスの提供を目指しています。

管理課の業務

管理課では職員の人事や給与、研修や労務管理といった職員に関する業務や、病院の建物や駐車場などの管理といった病院全体の管理に関する業務まで幅広く行っています。病院で働く職員が働きやすく、来院された患者さんが利用しやすい病院を目指しております。

経営企画室の業務

経営企画室では経営に関するデータを収集・分析し、病院の運営方針・経営戦略・病院の将来構想などの検討を行っています。長期的な目線をもって病院経営を推進していくことを目指しております。

また、窓口業務や清掃業務、防災センターなどの業務については外部委託しておりますが、事務部にて管理を行っています。外部委託職員含めて多くの職員が裏方として病院の運用をサポートしております。

珍客の雨宿り

～西群馬からの便り～

去る5月下旬の雨天時、西群馬病院の跡地管理のための巡視の際にカモシカ(?)のこどもと思われる「珍客」が旧看護師宿舎の階段入り口にて「雨宿り」をしていました。

以前から幾度となく敷地内ではタヌキやキジは目撃されていましたが、今回珍しい姿に逢うことができました。



(写真撮影：大澤氏)



骨粗しょう症とは？

副診療放射線技師長 西岡 靖晃

骨がもろくなっているかどうかを知る指標として代表的なものが「骨密度」です。骨密度検査では、X線や超音波を使って骨の量を測ります。結果は、若い人の平均値を100%とした時に、自分の骨の量が何%かで示されます。

骨密度が若い人の80%未満になると要注意、70%以下まで減ると、骨粗しょう症と診断されます（骨折したことがなく、他に骨密度を減らす病気などがない人の場合）。

骨粗しょう症になると、骨折が起きるリスクが高まるので、早目に診断を受け、食事や運動療法に加え、場合によっては骨を強くするお薬などによる薬物治療を早く始めることが肝心です。

特に女性では症状がなくても、50歳以上になったら定期的に骨密度を測りましょう。

骨粗しょう症は、自覚症状がなく、知らないうちに進行することがほとんどです。自覚症状がないからこそ定期的に骨密度検査を受けることが重要なのです。

骨粗しょう症の検査についてご紹介します

超音波測定法

かかとの骨に超音波を当て、骨の強さを反映する測定方法です。診断には使われませんが、検診などで骨折リスクを簡単にスクリーニングする方法として普及しています。

MD(エムディー)法

手の骨密度をX線で測定する方法です。簡便に測定できるので、DXA(デキサ)装置のない医療機関ではよく用いられている方法です。ただし、お薬による骨密度の上昇効果が判定しにくいです。

DXA(デキサ)法

骨粗しょう症の診断に使用される測定方法です。背骨や太もものつけ根、前腕などの骨密度をX線で測定します。検査着で装置に横になり、数分じっとしていれば終わります。診断に加えて、お薬の治療効果の評価にも適しています。

代表的な骨密度検査



超音波測定法



MD(エムディー)法



DXA(デキサ)法

骨の健康を知る上でDXA(デキサ)法(中でも腰の骨、足の付け根)による骨密度検査が推奨されています。 《骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年盤》

当院でもデキサ法による骨密度の測定を行っております。
興味のある方は気軽に主治医の先生にご相談してみてください。

味覚異常のある時の食事の工夫について

がん病態栄養専門管理栄養士 高塚 真理

前回、抗がん薬で起こる味覚の変化について、その症状と原因をお伝えしました。今回は、味覚異常のある時の食事の工夫についてご紹介します。

● 味を感じにくいとき

1. 比較的感じる味付けで食べやすくする

酸味・甘味（果物・素材そのもの）・ソース味・カレー味などの香辛料は、美味しく食べられることが多いようです。

2. 水分を多く含んだ料理で、さら〜っと食べる

お茶漬けや雑炊、そうめんなどがおすすめです。
汁物などを取り入れて、交互に食べるのもよいでしょう。



● 変わった味がするとき

1. 唾液の分泌を促す

食前にうすいレモン水で口をゆすいだり、昆布でだしを取った汁物と一緒に食べたりすると、苦みなどの不快感が緩和されやすくなります。

2. やわらかい食材も取り入れましょう

味覚異常のある時は噛むことが負担になることがしばしばあります。消化・吸収を円滑にするためによく噛むことはとても大切ですが、少しやわらかい食材であれば、噛む回数が少なくても胃腸の負担になりません。

☆比較的食べやすい料理



焼きそば・ソース味のたこ焼きなど



冷やし中華



冷やしきつねうどん



お茶漬け

たんぱく質源として塩鮭を入れてもよい♪



厚揚げ



さつま揚げ・冷奴など



茶碗蒸し



とろろごはんなど



澁川医療センター 外来診療担当医表

(令和5年7月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前				モリ カズヨ 森 一世	
	午前				カワシマ チエコ 川島 智恵子	
循環器内科	午前	ナカノ タカヒデ 中野 考英	マツオ ヤエ 松尾 弥枝(北関) (第1,3,5週) イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2,4週)	ミキ ユウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1,3,5週)(予約制) クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2,4週)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後				ナカシマ クニキ 中島 邦喜(北関) (第2週) ツボイ エイトシ 坪井 栄俊(北関) (第4週)	
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1,3,5週13:30~)		
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	マスタ トモミ 増田 友美(群大)	クワコ トモヒト 桑子 智人	オオサキ ユウジ 大貫 祐史	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前から 14時迄	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣		オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前		イタイ ミキ 板井 美紀(群大)	ヨコタ イタル 横田 暢	ワカマツ イクオ 若松 郁生(群大)	
内分泌・ 代謝内科	午前			ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大)	ショウダ ヨシト 正田 純史	シミズ トモヒコ 清水 智彦
	午後	シミズ トモヒコ 清水 智彦	シミズ トモヒコ 清水 智彦	ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第1週 14:00~)		ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第3週 14:00~)
小児科 (重心のみ・予約制) 小児神経(てんかん)予約制	午後			イノウエ フミタカ 井上 文孝(重心)		
	午後	イダ クニコ 井田 久仁子 (小児神経)				
血液内科	午前			アカシ ナオキ 明石 直樹		
	午前	テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸 (第3週)			
	午前	サイトウ アキオ 斉藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斉藤 明生
	午前	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃		テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
午後		サワムラ モリオ 澤村 守夫				
消化器内科	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	サトウ ヒロコ 佐藤 洋子	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	ムラカミ タツマ 村上 正真(群大)	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前	キムラ ユウコウ 木村 有宏	スガ タカヨシ 須賀 孝慶	ヒロカワ トモユキ 廣川 朋之	ナガシマ タモン 長島 多聞	アダチ タクヤ 安達 拓也(群大)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コバヤシ ゴウ 小林 剛	コバヤシ ゴウ 小林 剛	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサノブ/カミヌマ タクヤ 松浦 正名/神沼 拓也	カミヌマ タクヤ/ナカムラ ユウジ 神沼 拓也/中村 勇司	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子
	午後	クワコ ケイコ 桑子 慧子	マツウラ マサノブ/クワコ ケイコ 松浦 正名/桑子 慧子	ナカムラ ユウジ/マツモト エイミ 中村 勇司/松本 瑛美	マツウラ マサノブ 松浦 正名	マツウラ マサノブ 松浦 正名
	午前	ナカムラ ユウジ 中村 勇司				
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆
	午後			セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		

外来受付時間 8時30分～11時00分 注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※第1・3・5水曜の循環器内科は完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんだけの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承ください。

◎予約変更について 受付時間: 平日13~17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)

TEL.0279-23-1010 (代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキタ フジオ 時田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文	マキタ フジオ 時田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		マキ シゲオ 真木 茂雄	スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1, 3, 5週13:30~)	術前外来	
	午前		ヌマガ ユキ 沼賀 有紀		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
	午後				術前外来	
呼吸器外科	午前	ヤマキ エイ 八巻 英		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前			オノザト リョウイチ 小野里 良一		ヤマキ エイ/オノザト リョウイチ 八巻 英/小野里 良一
脳神経外科	午後					イタバシ ユウタロウ 板橋 悠太郎
	午後			ヒラト マサブミ 平戸 政史 (予約)		シマウチ ヒロヤ 島内 寛也(群大) (14:00~)
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫(予約制)	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭(群大)		イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後 (予約)				ヒラト マサブミ 平戸 政史	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロモデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	フリタ トシロウ 割田 敏朗	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	
	午後			オカムラ コウイチ 岡邨 興一(群大) (第1, 3, 5週)		ヨネモト ユキオ 米本 由木夫 (リウマチ専門外来) (第2, 4, 5週)
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	フリタ トシロウ 割田 敏朗 (第1, 2, 3, 5週)
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ/イシオ ノリコ 根井 翼/石尾 典子	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼
	午後 (予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼		タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼
	午前 11時迄	シミズ タカノリ 清水 孝倫	ネノイ ツバサ 根井 翼	タムラ ヨシミ 田村 芳美	シミズ タカノリ 清水 孝倫	シミズ タカノリ 清水 孝倫
	午後 (予約)	シミズ タカノリ 清水 孝倫			シミズ タカノリ 清水 孝倫	タムラ ヨシミ/ヨシハラ タクトシ 田村 芳美/吉原 忠寿
	午前 11時迄				ネノイ ツバサ 根井 翼	
	午前 10時迄					イシオ ノリコ 石尾 典子
耳鼻咽喉科	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	ナカノ シュン 中野 瞬
	午後 (予約)	ナカノ シュン 中野 瞬	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	ナカノ シュン 中野 瞬
	午前	ナカノ シュン 中野 瞬	アサトリ アヤコ 朝鳥 彩子(群大) (第2, 4週)	ナカノ シュン 中野 瞬	ナカノ シュン 中野 瞬	
甲状腺科	午前	ヨコエ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコエ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後 (予約)			ヨコエ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコエ トオル 横田 徹
	午後 (予約)		ヨコエ トオル 横田 徹			ヨコエ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前		サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前					
	午後 (予約)		グンダイシ 群大医師	グンダイシ 群大医師		
	午前	シノハラ ヨウイチロウ 篠原 洋一郎(群大)				

セカンドオピニオン担当医表 (令和5年7月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘	—	吉井 明弘	—	—
呼吸器内科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	—	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	—	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	—	—	—
放射線科	午後3時～	—	中村 勇司	松浦 正名	—	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者：原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用：30分毎に5,500円

※お問い合わせ先：TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当：ソーシャルワーカー
電話：0279-23-1010(代)
(受付時間は平日8:30～17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail：207-ShibukawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します

看護の基本方針

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重し、共に考える看護を実践します
2. 患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりとまごころを込めた看護を実践します
3. 根拠に基づいた、安全で安楽な質の高い看護を実践します
4. 地域の人々と連携を図り、患者さんの生活の質の維持・向上に努めます

編集後記

厳しい暑さが続いておりますが皆様如何お過ごしですか？

近年ますます気温が高くなっているように感じます。熱中症にはくれぐれもご注意ください。特に水分補給、睡眠、バランスの取れた食事に気をつけていただき暑いこの夏を元気に乗り越えて行きましょう。

(K.T)



独立行政法人国立病院機構 **渋川医療センター**

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 電話 0279-23-1010(代) FAX 0279-23-1011

【ホームページ】<https://shibukawa.hosp.go.jp>